

生き生き稲荷二

# コミュニティプラン

稲荷第二地区

## 住んで良かった 笑顔あふれるまち



いきいきコミュニティ稲荷二

## コミュニティプランの目的

私たちのまち（稲荷第二地区）を未来につないでいくために、地域住民の力を結集し、互いに助け合い、地域住民によるまちづくりを推進するための指針です。これまでも多くの素晴らしい取り組みがありました。現在のライフスタイルに沿った内容や、実施方法を変化させながら継承するもの、これまでになかった課題を捉え地域で解決していくものなど、これからいきいきコミュニティ稲荷二が取り組んでいきたい活動について、次の4つの柱に区分し、地域住民の手による地域住民のまちづくりを展開していきます。

### ①安全安心なまち

#### （防災、防犯活動）

みなさんの生活は、自然災害、事故、火災、犯罪被害など、常に何が起こるか不安の中にあります。ご近所同士の声かけ・呼びかけ、万一来に備えた訓練の実施、関係機関との連携体制の構築など、みなさんの安全安心につながる取り組みを展開していきます。

- 災害発生時の声かけや安否確認
- 防災訓練・講話の実施
- 避難所運営の協力・支援
- 災害井戸の協力
- 子どもたちの登下校時の見守り・声かけ
- 防犯灯の維持管理・増設（町内会毎）
- 水戸市消防団第20分団による各種支援
- 酒門交番との連絡会



### ②人と人との絆を大切にするまち

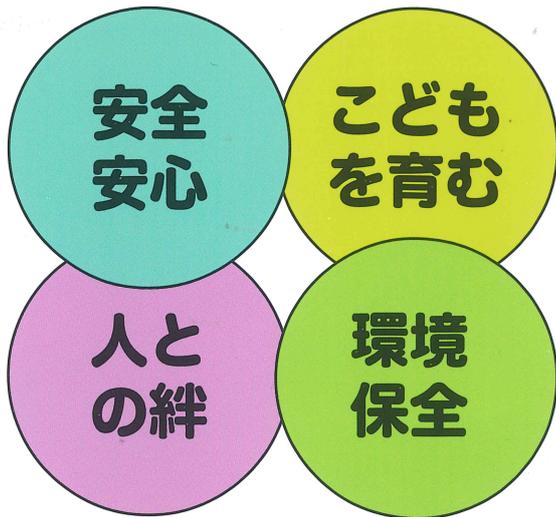
#### （近助、共助、地域行事、情報発信など）

社会生活は、人と人とのつながりによって形成されます。同じ地域に住む者同士が、地域行事等を通じて交流を深め、お互い様の感謝の心、思いやりの心を醸成していくとともに、笑顔であいさつを交わせるまちになるよう、様々な取り組みを展開していきます。

- 市民スポーツ大会（市民運動会）の開催
- 稲荷二いきいきまつりの開催
- 広報紙「生き生き稲荷二」の発行
- 市民センターを通じた情報発信
- 福寿のつどい  
（水戸市社会福祉協議会稲荷第二支部）
- 高齢者へのクリスマスプレゼント



## コンセプト



## 推進を強化する主な事項

- 災害時の対応力強化  
(医療機関、食料品店、製造業者等との連携)
- 広報紙、市民センターを通じた情報発信の強化
- こどもたちとの交流を深め、郷土愛を育む地域行事の充実
- まちの清掃、環境保全活動への支援

### ③こどもたちを地域で育むまち

(稲荷二小応援団、こども向け行事など)

こどもたちはかけがえのない地域の宝です。そんなこどもたちの郷土を愛する心を育てていくために、登下校時の見守りやあいさつ、稲荷第二小学校への支援・協力、こどもたちの笑顔があふれる地域行事など、地域住民が力を合せて展開していきます。

- 稲荷第二小学校応援団（地域学校協働活動）  
(環境教育、習字、除草・剪定等)
- 夕涼み会、オセロ交流会の開催
- こどもの安全を守る家
- こどもたちの登下校時の見守り・声かけ
- 市民スポーツ大会（市民運動会）の開催
- 稲荷二いきいきまつりの開催



### ④豊かな自然環境を守るまち

(清掃、資源ごみ回収、花壇、環境整備など)

豊かな自然環境や明るいまちは、人々の生活に潤いを与え、明日への希望にもつながっています。町内会・自治会単位の清掃活動、花いっぱい運動をはじめ、地域が明るくすがすがしい気持ちで生活を送れるよう、美しいまちを将来につなげていきます。

- 町内会・自治会清掃活動（クリーン作戦。）
- 資源ごみ回収分別作業
- 地域の花壇等整備
- 百合が丘ふれあい事業（百合が丘ピアクラブ）
- 木戸房池周辺森の環境整備  
(NPO法人エコグリーン茨城)
- 農地共用部分の花壇整備
- ボランティア住民による道路、歩道等のゴミ拾い、落ち葉清掃など



## 地理的位置付け

水戸市の東部に位置し、山林と田んぼが多い田園地帯。



## 稲荷第二地区 コミュニティマップ

六反田町

### 百合が丘環境共生公園



水戸中央病院

### 百合が丘町

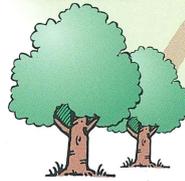


セブンイレブン

こども発達支援センター  
稲荷第二小学校

ヨークベニマル  
ウエルシア

六反田町  
原付



大場局

## 規模

町内会・自治会別  
加入世帯数

2025.10.1現在

町内会・自治会	世帯数
栗崎町自治会	154
六反田町内会	86
六反田原付自治会	20
百合が丘町内会	569
合計	829

## 稲荷第二小学校児童数

年度	児童数
令和6年度	187
令和7年度	178
令和8年度(予定)	145

## 災害時生活用水協力井戸

2025.10.1現在

登録番号	登録番号	汲上方式	発電機
稲荷第二-1	六反田町947-2	電動	可
稲荷第二-9	六反田町633-1	電動	可
稲荷第二-10	六反田町650	電動	可
稲荷第二-13	六反田町672	電動	可
稲荷第二-14	栗崎町1618-5	電動	可

## 未来に守り残すべき自然

**天** 天然記念物

**保** 市指定保存樹



六地藏寺

**天** **保** 大杉  
樹齢1100年



六地藏寺

**天** しだれさくら



愛宕神社(愛宕山古墳)

**天** **保** こぶし  
樹齢250年



佛性寺

**保** 大銀杏  
樹齢800年



## こどもの安全守る家



2025.10.1現在

町内会・自治会	登録数
栗崎町自治会	13
六反田町内会	5
六反田原付自治会	3
百合が丘町内会	28
合計	49

店舗や医院の他、一般家庭の登録も多くあります。

地図上に表示しきれない為、通学路の沿線や公園の近くなど稲荷第二小学校、稲荷第二市民センターにある詳細地図を確認ください。

水戸市の天然記念物は9件（国指定1件、市指定8件中4件が本地区にあります）



栗崎北古墳香取神社



芳賀神社



保 けやき2本  
樹齢各200年



木戸房池



六反田池

保 タブノキ 樹齢300年  
保 アカガン 樹齢300年

## 稲荷第二地区の変遷

元々は六反田村、栗崎村であるが、東前・大串・島田と合併し、稲荷村となる。この時には小学校が2校あったため、稲荷第一、稲荷第二となったと思われる。その後、下大野村・大場村と合併し、常澄村となり、さらには水戸市と合併した。

六反田町の山林が開発され、百合が丘団地が造成されたことで、六反田町が分断され、六反田町原付が独立した。

## 近年の出来事

年 月	西 暦	出 来 事
平成元年12月	1989	百合が丘ニュータウン起工式
平成5年12月	1993	百合が丘団地 第1期入居開始
平成8年4月	1996	稲荷第二小学校 栗崎町から百合が丘町に移転
平成11年5月	1999	いきいきコミュニティ稲荷二 設立
平成12年2月	2000	公民館裏に桜植樹 サクラひろば誕生
平成18年	2006	水戸中央病院が六反田町に新築移転
平成23年3月	2011	東日本大震災 "いち早く稲荷第二小学校に避難所開設 佛性寺本堂、六地藏寺四脚門が傾く被害 六反田池堤防破損被害 "
平成24年2月	2012	佛性寺本堂（八角堂）修復工事開始
平成26年	2014	佛性寺本堂（八角堂）修復工事完成 本来の藁葺屋根に
平成29年3月	2017	六反田池堤防修復工事完成
平成30年	2018	六地藏寺四脚門 修復工事
令和3年3月	2021	稲荷第二幼稚園 閉園
令和3年	2021	" コロナにより R2～R4 総会中止（書類審議） その他行事も中止 "
令和4年4月	2022	こども発達支援センター百合が丘分室 開設
令和4年12月	2022	いきいきまつり 規模を縮小して再開
令和5年5月	2023	総会再開
令和5年	2023	さくらのライトアップ(3月)、夕涼み会(8月)を新たに実施
令和5年10月	2023	市民運動会 規模を縮小して再開

## いきいきコミュニティ稲荷二 構成団体 順不同

1	稲荷第二地区町内会・自治会
2	水戸市社会福祉協議会稲荷第二支部
3	稲荷第二市民センター運営審議会
4	水戸市立稲荷第二小学校PTA
5	水戸市立稲荷第二小学校後援会
6	水戸市スポーツ推進委員
7	稲荷第二地区体育委員
8	稲荷第二地区内民生委員・児童委員
9	稲荷第二地区高齢者クラブ（百合が丘ピアクラブ）
10	水戸市保健推進員稲荷第二支部
11	水戸市消防団第20分団
12	稲荷第二小学校夜間開放運営委員会
13	常澄地区青少年育成会（稲荷第二地区内委員）
14	常澄地区青少年相談員（稲荷第二地区内委員）
15	水戸市食生活改善推進委員（稲荷第二地区内委員）

## 連絡先等

- 災害時の連絡先（市）  
水戸市役所防災危機管理課  
☎232-9152
- 水戸市消防局 ☎221-0111
- 指定避難所  
稲荷第二市民センター  
☎269-1031
- 稲荷第二小学校 ☎248-8011
- 常澄中学校 ☎269-2116
- 広域避難場所  
第三中学校
- 福祉避難所  
常澄老人福祉センター
- 緊急避難場所  
県立産業技術短期大学校